



2012 「希望のある社会」への道筋をつけるスタートライン!

自治労北海道空知地方本部 執行委員長 和田 英浩

各単組総支部の皆さんに、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は日本人にとって大きな悲しみと、苦しみを経験した年であり、またこれまでの社会的な価値観を大きく変える年でもありました。

震災当初から各単組総支部の仲間の皆さんにご協力をいただき、復興ボランティアにも積極的に参加をいただきました。また、年末には福島支援として「りんごの購入」にもご協力をいただきました。改めて感謝とお礼を申し上げます。

被災地への支援や協力は単発的なものではなく、これからも長く続けていかなければならないものであると考えています。

さて、我々労働者の立場にたち一年を振り返ると、政権交代後2年を過ぎてもなお、先行きが見通せない状況が続いています。国家公務員制度改革関連4法案と、国家公務員の特例給与法案が継続審議となり、一方で「社会保障と税の一体改革」を柱に2012年度予算編成がどのような成立過程をたどるのか、政局になる波乱を含んだ年越しとなり、東日本大震災の復旧復興も本格的な冬を迎え、不安を残したまま新年を迎えるという状況となりました。

年頭に当たって、委員長就任以来、一貫して



訴えてきた「長い歴史の中での混乱はほんのひとコマにすぎない。先はまだ長いதாகいだから性根を据えて頑張ろう」という言葉を繰り返したいと思います。

おそらく今年は政局含みの混乱があるかもしれないと考えながらの一年になるでしょう。しかし、私たち労働者は地域の第一線で地方自治を守るたたかいを肅々と進めていくしか道はなく、そのことが未来への唯一の保障であり、公務として働くもののプライドであると考えています。

これまでの、あり方は認めつつ、新たな社会や、地方のあり方について前向きに取り組みを進めていくことを、改めてお願いするものです。

2012年を「希望のある社会」への道筋をつけるスタートラインと位置づけ、春季生活闘争に取り組むとともに、各単組の課題解決にむけ、地方本部としても一緒に全力を尽くしていくことをお約束し、合わせて組合員の皆さんの今年一年のご多幸をお祈りしながら、念頭のご挨拶とします。

ともに頑張りましょう。

☆☆☆☆地本春闘討論集会に多くの参加を！！☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

1月21日(土)13時30分から砂川市総合福祉センターで、『空知地方本部春闘討論集会及び第1回単組・総支部代表者会議』が開催されます。震災支援として空知が取り組んだ物資支援のお礼に福島市職労の今野執行委員長が来空し、お礼と今の福島の実態についてお話ししていただくことになっています。貴重な機会ですので、是非多くの組合員の参加をお願いします。